



夜公園に来るときの安全対策は必要では？

■1 1段目と2段目をつなぐ動線
あくまで自然公園であるため、優先事項は景観であり、景観を損ねるのであれば全面バリアフリーにする必要はないのでは？

バリアフリー園路を設けるとすれば広場を横切らずに市道沿い

ビューポイントに看板をつくる

■2 舗装材
車いすで回ることを考えるとバリアフリーの区間では硬い舗装が必要（樹脂系、防草土など）



■3 現場発生石材活用のベンチ
掘って出てきた自然石を置いて座れるようにしたい。園路の交差点等の近く等に配置。（例として★の箇所等）座面のある石があるかが懸念事項。

■5 広場の地被
平らな場所やそりで滑る場所には外来牧草は避け、在来のイネ科（ノシバ）がよい。

クララを増やす

■4 サイン
矢羽根型で方向のわかる案内誘導サインを設置。サイン制作に後輩たちが関わる方法はどうか。

樹名板はしつこくならない程度で設置

木の葉を使った遊び方の案内図等もあるとよい

ロープを張って普段は入れないようにする

■6 泥溜め機能の付加
泥の入流の問題があげられていたことから、その解消につながる泥溜め(定期的な救い上げが必要だが)を池より手前に作ってはどうか。

キシウブはすべて抜く

外来種は減らす

植物は少しずつ増やしていきたい

石の間などに生息する動物や虫のために石積をつくる

■7 池
様々な植物を植えることを前提にはせず、生き物定着を促したり「池」として使うことを優先してはどうか。植えて手入れが行き届かないとキシウブ繁茂を促してしまう。

ニセアカシアを利用したチップを敷く

ニセアカシアを利用した階段をつくる

■8 四季を映し出す 植栽空間（上段部分から下段へ 早春、春、夏、秋を演出）

マンサク、アブラチャン、ダンコウバイなど早春に黄色に花を咲かせる樹木を植栽
開花時期が早めのツツジ類の植栽

シンボルツリーはシダレザクラを提案。安曇野の墓地などにも多くこの地域をイメージできる樹種。
ヤナギを水際に植栽

3段目のクヌギは夏に虫取りを楽しめるエリアに。彩りのシンボルとしてナツツバキを提案

4段目はカエデ類を植栽。紅葉で秋を感じられるとともに葉や種子で遊ぶこともできる。

ホオノキなど葉大きい樹木の植栽（仮面などにして遊ぶことができる）

■9 野鳥誘致木の植栽
野鳥誘致になる樹種も植えたい。

P ビューポイント

ビューポイント